

2024年8月14日

各位

会社名 株式会社 unerry
代表者 代表取締役社長 執行役員 CEO 内山 英俊
(コード番号：5034 東証グロース市場)
問合せ先 取締役 執行役員 CFO 経営企画部長 斎藤 泰志
(TEL 03-6823-8234)

2024年6月期 通期決算について想定されるご質問に対する回答

本文は、本日開示した2024年6月期通期決算について想定されるご質問に対する回答を皆様のご参考として開示するものです。

【業績・直近の事業環境について】

Q：通期での売上総利益が業績予想を上回った要因は何でしょうか？

A：要因は以下通り、大きく分けて3点ございます。

- ①粗利率の高い分析・可視化、One to One サービスの売上高が想定を上回ったため
- ②One to One と行動変容サービスの粗利率が想定以上に改善したため
- ③インフラコスト等をコントロールすることで間接原価の抑制ができたため

Q：One to One サービスの粗利率が改善した要因は何でしょうか？

A：2023年6月期におこなった「戦略価格受注」の売上高計上が一巡し、また、案件の内製化が進んだことから、粗利率がYoYで+4pt改善しております。

Q：4Qで初めて営業利益が黒字化に転換していますが、その要因は何でしょうか？

A：要因は以下通り、大きく分けて3点ございます。

- ①例年は4Qに売上高が落ち込むが、売上高の90%を占めるリカーリング顧客の売上高が堅調であったため
- ②One to One サービスの利益率が改善し、全体の粗利率が前期比で3pt向上したため
- ③人件費を中心に販管費は増加したものの、それ以上に売上高が伸長したことにより販管費率が前期比で4pt改善したため

※リカーリング顧客：4 四半期以上連続で取引のある顧客企業、および、直近3ヶ月以上連続で取引のある新規顧客企業（なお、代理店経由のサービスユーザがリカーリング顧客条件に該当する場合は、当該ユーザをリカーリング顧客とみなす）

【リテールメディア事業について】

Q：今期リテールメディア領域が大きく成長した理由は何でしょうか？

A：足元では国内のリテールメディア市場の成長が進んでおり、加えて、昨年8月に資本業務提携を結んだ三菱食品株式会社様とのお取り組みが拡大していることが成長の要因でございます。

【スマートシティ事業について】

Q：スマートシティの受注状況は前期比でどうなっておりますでしょうか。

A：スマートシティ市場の成長と共に公募案件の獲得も進んでおり、2024年6月期は売上高129%成長と大きく収益に寄与しました。2025年6月期は各自治体での実績を引き続き積み重ねつつ、翌期以降の成長率向上に向けたプロダクト化に注力してまいります。

【グローバル事業について】

Q：GroundLevel Insightsへの投資に対して貸倒引当金を計上していますが、今後の北米事業の展開に懸念はないのでしょうか？

A：北米事業展開に想定以上の時間を要していることに伴い、Ground Level Insightsへの投資に対し貸倒引当金を計上しました。まだ収益は少ないもののプロダクト化は進んでおり、北米市場への期待は変わっておりません。今後とも北米版ダッシュボードの開発など引き続き展開を進めてまいります。

【採用・人的資本について】

Q：従業員数の増加状況と、今期の増加見込みを教えてください。

A：2024年6月末時点の従業員数は72名となり、YoYで13名（+22%）増員しております。2025年6月期は25%程度の増員を見込んでおります。

上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際は様々な要因によって予想と異なる場合がございます。

以上